

# 天文学とプラネタリウム

第66回



今月のお題

## 秋の月の楽しみ方



■10月も六本木ヒルズで観望会を開催します！

秋はお月見の季節。  
月を見ながら、いろいろと考えてみませんか？



www.tenpla.net

高梨直紘 (国立天文台 光赤外研究部 研究員)

平松正顕 (台湾 国立清華大学)

### 例えばこんな妄想を

秋深き 隣は何を するぞ。芭蕉も詠むように、秋は想いにふける季節でもあります。いまこの瞬間にも宇宙のどこかでは、私たちが夜空に想いを馳せるのと同じように、夜空を見上げている“誰か”がいる。秋は、そんな想像をすることが楽しい季節です。

天プラ的にお勧めの秋の想像…むしろ妄想ネタは、なんといってもお月様です。私たちの頭上に輝く月は、もはや天上の手の届かぬ世界ではありません。ガリレオに覗かれ、アポロにまさぐられ、かぐやにハイビジョン撮影までされてしまいました。もはや精神的には地球の一部といっても良い世界ですが、ただひとつ地球と違うのは、そこに未だ生命の存在が違和感を持つ点ではないでしょうか。つまり、月ライブをリアルに想像できていない気がするのです。SFが描く月世界は、どうも作り物っぽいかプラスチックのような感触で…。そこに足りない、血の通った妄想こそが、月開発の原動力になるのではないかと思います。

月が地球と異なる点は少なくありませんが、大気がないのは大きな違いのひとつでしょう。地球は分厚い大気のヴェールが包んでくれるおかげで、宇宙から飛来するさまざまなものから私たちを守ってくれています。例えば、隕石。最大で秒速40kmにも達する速度で飛び込んでくる隕石は、月面生活者にとっては脅威そのものでしょう。これから身を守るにはどうしたら良いか？そう、神頼みです。確率的には滅多に当たるものではないので、運の良し悪しが大事になってくるでしょう。となると、必要なのはなにか？隕石除け祈願の靈験あらたかなお社に他なりません。八百万の神の中にはきっとそんな神さまもいることでしょう。流星群の季節には、みんなで神社に集まって流星除けを願って奉納のボンダンスを。月名物のすかすかのたこ焼きをつつきながら、縁日で宇宙メダカをすくい、ふと地球を見上げれば流れ星がちらちらと光る様子が見える…。

私たちの日常生活が、合理性和非合理性の組み合わせで成り立っているのと同じように、月



六本木ヒルズ屋上から眺める月。想像がふくらみます。

での生活も研ぎ澄まされた合理性と人間らしい非合理性の組み合わせで成り立つことでしょう。優れたSF作品ではその両者を上手に接続させていますが、まだまだ夢想の余地は広がっています。せつかくのお月見の季節、夜空を眺めながらあなただけの想像を楽しんでみませんか？